

令和 7 年度 事業報告書

社会福祉法人

柴田町社会福祉協議会

目 次

●事業報告

1. 法人運営

- (1) 理 事 会 1
- (2) 監 事 会 3
- (3) 評議員会 3
- (4) 評議員選任・解任委員会..... 4
- (5) 法人運営委員会..... 5
- (6) 職員研修状況 5

2. 調査研究

- (1) 柴田町社会福祉協議会第4次地域福祉活動推進計画地区共生会議の開催・ 7

3. 事業の広報・啓発

- (1) 社協だより等の発行 8
- (2) 広報・啓発 8
- (3) 福祉まつり 2025 の開催 8
- (4) 柴田町社会福祉協議会 第18回社会福祉推進大会 9

4. 連絡調整事業

- (1) 支部の育成、支部長会議の開催状況 9
- (2) 地域支え合い研修会 10
- 福祉推進委員説明会 10
- 令和7年度支部及び福祉推進委員の設置状況 11
- (3) 自主財源の確保 12
- 令和7年度の社協会員加入状況..... 13

5. ふれあい福祉センター事業

- (1) 福祉サービスに関する苦情解決体制の整備 14
- (2) ふれあい福祉センター（生活相談所）の運営 14
- (3) 生活困窮者支援事業 フードバンク、フードパントリー 15

6. 地域生活支援事業

- (1) 小地域福祉活動の推進
 - ① 柴田町アクティビティサービス「いこいの日」促進事業 15
 - ② 柴田町アクティビティサービス「いこいの日」促進協議会研修会 15
 - ③ 「いこいの日」実施地区の実施内容(世代間交流事業も含む) 16
 - ④ レクリエーショングッズの貸し出し 19
- (2) 高齢者福祉の推進
 - ① 第41回ふれあい交流会（ひとり暮らし高齢者）の開催 20
 - ② 第12回ひと足早いクリスマスコンサート（ひとり暮らし高齢者）の開催 20

(3) 子育て支援事業の推進	
① 子育てサロン「きらら」の開催	21
② 「親子でリズム遊びをしよう！」の開催	21
(4) 共生型交流サロン「みんなの居場所」等の開催	21
① 地域福祉センター・サロンコンサートの開催	21
② 「産直市場」の開催	22
③ 共生サロン事業 コミュニケーション麻雀「雀のお宿」	22
(5) 社協こども特別食堂	
① 社協こども特別食堂参加人数	23
② 社協こども食堂登録ボランティア先進地視察研修会の開催	23
(6) 町内子ども食堂連絡会の開催	23
(7) 住民参加型の生活支援サービスの推進	
① ふれあいネットワーク互助事業	24
② 協力会員研修等内容	24
③ 協力会員の活動状況	24
④ 福祉有償運送に係る道路運送法第79条関連	24
(8) 福祉機器貸与事業	
① 福祉機器等の貸与	25

7. ボランティアセンター活動事業

(1) ボランティア活動の推進（ボランティアセンター機能を含む）	25
① 福祉防災啓発活動	25
② 災害ボランティアセンター「大規模災害時に備える研修会」	26
③ 被災者支援事業「交流サロンさくら」の開催	26
④ 令和7年度ボランティア養成講座の開催	26
⑤ ボランティア保険の加入状況	27
(2) 福祉教育推進	27
① 防災福祉体験学習への協力	27
② 夏ボランティア体験学習（小学生対象）	28

8. 共同募金配分事業

(1) 歳末たすけあい募金配分事業	29
-------------------	----

9. 資金貸付事業

(1) 生活安定資金の貸付	30
(2) 生活保護つなぎ資金の貸付	30

10. 福祉団体支援事業

11. 基金運営事業

(1) 基金等の管理運営	31
(2) 善意銀行の運営	31
善意銀行運営状況	31

① 金銭受入明細	31
② 金銭払出明細	31
③ 物品寄付明細	32

12. 受託事業

(1) 生活福祉資金貸付制度(県社協からの事務委託)	33
(2) 日常生活自立支援事業(まもりーぶ事業)	34
(3) 柴田町自立者支援通所事業「春風」	34
(4) 槻木ケアステーション運営事業	34
生活援助員(LSA)活動状況	35
(5) 柴田町高齢者サークル活動支援事業	35
(6) 柴田町地域包括支援センター事業	35
(7) 柴田町社会福祉協議会訪問調査センター事業	37
(8) 柴田町生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター配置)	37

13. 指定管理事業

(1) 柴田町地域福祉センター指定管理事業	38
(2) 柴田町地域活動支援センターもみのき・しらさぎ指定管理事業	39

14. 福祉団体等事務局業務

(1) 柴田町民生委員児童委員協議会	40
(2) 柴田町ボランティア・NPO活動連絡会	40
(3) 柴田町身体障害者福祉協会	41
(4) 柴田町遺族会	41
(5) 福祉劇団「鶴亀」	41
(6) 柴田町老人クラブ連合会	42
(7) 柴田町共同募金委員会	42

1. 法人運営

法人を運営するため、法人の業務の決定を行う「理事会」と、法人の重要な事項について決議をする「評議員会」を開催した。

また、「監事会」を開催し、法人の財産の状況を監査すると同時に、監事が理事会に出席し、理事の業務執行状況を確認した。

その他、評議員の選任を行う「評議員選任・解任委員会」を開催した。

(1)理事会(5回開催)

開催年月日	出欠者	議案と審議の経過
R7. 5. 21	出席 11 名 欠席 2 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 令和 6 年度 事業報告について 第 2 号議案 令和 6 年度 収支決算並びに監査報告の承認について 第 3 号議案 令和 7 年度 第 1 次補正予算について 第 4 号議案 評議員選任・解任委員の選任について（定款第 7 条第 3 項） 第 5 号議案 評議員候補者の選任委員会への推薦について（定款第 7 条第 4 項） 第 6 号議案 定時評議員会の開催について（定款第 1 4 条） 次の内容について報告がなされた。 1）会長及び常務理事の職務の執行状況について
R7. 6. 19	出席 11 名 欠席 2 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について（定款第 1 9 条第 2 項） 第 2 号議案 柴田町社会福祉協議会部会構成について (1) 部会部員の指名について（部会規程第 2 条第 2 項） (2) 部会長の互選について（部会規程第 2 条第 3 項） (3) 職務代理者の指名について（部会規程第 5 条第 3 項） 第 3 号議案 柴田町社会福祉協議会委員会構成について (1) 委員会委員の指名について（委員会規程第 2 条第 2 項） (2) 委員長の互選について（委員会規程第 2 条第 3 項） (3) 職務代理者の指名について（委員会規程第 5 条第 2 項） 第 4 号議案 評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について（定款第 7 条第 4 項）

R7. 8. 20	出席 12 名 欠席 1 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 第 2 次補正予算について 第 2 号議案 評議員会の開催について 次の内容について報告がなされた。 1) 社協事業報告（令和 7 年 4 月～8 月）と今後の事業予定（令和 7 年 9 月～12 月）について 2) 第 18 回 社会福祉推進大会の開催について 3) 会長及び常務理事の職務の執行状況について 4) その他
R7. 12. 2	出席 9 名 欠席 4 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 評議員候補者の選任委員会への推薦について（定款第 7 条第 4 項） 第 2 号議案 令和 7 年度 第 3 次補正予算について 第 3 号議案 第 18 回社会福祉推進大会の被表彰者選考について 第 4 号議案 評議員会の開催について 次の内容について報告がなされた。 1) 社協事業報告（令和 7 年 9 月～11 月）と今後の事業予定（令和 7 年 12 月～令和 8 年 3 月）について 2) 会長及び常務理事の職務の執行状況について 3) 職員給与の改正について 4) 令和 7 年度 各種表彰受賞者について 5) その他
R8. 3. 10	出席 10 名 欠席 3 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 令和 7 年度 第 4 次補正予算について 第 2 号議案 令和 8 年度 事業計画について 第 3 号議案 令和 8 年度 当初予算について 第 4 号議案 評議員会の開催について 次の内容について報告がなされた。 1) 社協事業報告（令和 7 年 12 月～令和 8 年 3 月）について 2) 会長及び常務理事の職務の執行状況について

		3) 善意銀行の払出について 4) その他
--	--	--------------------------

(2)監事会(1回開催)

開催年月日	出席者	議案と審議の経過
R7.5.13	監事3名 公認会計士	1. 令和6年度経理について監査の専門家(公認会計士)による外部指導監査を実施 2. 令和6年度事業並びに収支決算について監査を実施 全体として事業内容は充実しており、今後も質の高い事業展開をお願いしたい旨の総評があった。経理も専門家の指導のもとに正確に行われ、諸帳簿、伝票等の整理も適正であった旨の総評があった。
R7.5.21	監事2名	令和7年度開催の理事会に出席。令和6年度収支決算について監査報告を行った。
R7.6.11	監事1名	令和7年度開催の評議員会に出席。令和6年度収支決算について監査報告を行った。
R7.6.19	監事1名	令和7年度開催の理事会に出席し、理事会の業務執行状況について監査を行った。
R7.8.20	監事3名	
R7.12.2	監事2名	
R8.3.10	監事2名	

(3)評議員会(4回開催)

開催年月日	出欠者	議案と審議の経過
R7.6.11	出席15名 欠席8名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第1号議案 令和6年度 事業報告について 第2号議案 令和6年度 収支決算並びに監査報告の承認について 第3号議案 令和7年度 第1次補正予算について 第4号議案 役員(理事及び監事)の選任について 次の内容について報告がなされた。 1) 評議員選任・解任委員について

R7.9.1	出席 18 名 欠席 5 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 令和 7 年度 第 2 次補正予算について 次の内容について報告がなされた。 1) 社協事業報告（令和 7 年 4 月～8 月）と今後の事業予定（令和 7 年 8 月～11 月）について 2) 第 18 回 社会福祉推進大会の開催について 3) その他
R7.12.11	出席 20 名 欠席 3 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 理事の選任について 第 2 号議案 令和 7 年度 第 3 次補正予算について 次の内容について報告がなされた。 1) 社協事業報告（令和 7 年 9 月～11 月）と今後の事業予定（令和 7 年 12 月～令和 8 年 3 月）について 2) 第 18 回社会福祉推進大会の被表彰者について 3) 職員給与の改正について 4) 令和 7 年度 各種表彰受賞者について 5) その他
R8.3.19	出席 20 名 欠席 3 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 令和 7 年度 第 4 次補正予算について 第 2 号議案 令和 8 年度 事業計画について 第 3 号議案 令和 8 年度 当初予算について 次の内容について報告がなされた。 1) 社協事業報告（令和 7 年 12 月～令和 8 年 3 月）について 2) その他

(4)評議員選任・解任委員会(2回開催)

開催年月日	出欠者	議案と審議の経過
R7.6.25	出席 3 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 1) 評議員候補者の推薦について (任期：令和 7 年 6 月 25 日から令和 10 年度に関する定時評議員会終結の時まで)
R7.12.25	出席 3 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 1) 評議員候補者の推薦について (任期：令和 7 年 12 月 25 日から令和 10 年度に関する定時評議員会終結の時まで)

(5)法人運営委員会(1回開催)

開催年月日	出欠者	議案と審議の経過
R8. 1. 26	出席 4 名	次の議案について協議がなされた。原案のとおり承認された。 第 1 号議案 社協バスの廃止と代替案としてのワゴン車両の取得について

(6) 職員研修状況

- 1) 県社協等主催の研修会・会議に参加し、業務に必要な知識の習得や職員のスキルアップを図るための研修充実に努めた。

月日	研修内容	参加人数
R7. 4. 10	令和 7 年度 介護認定調査員新規研修	職員 1 名
R7. 4. 18	令和 7 年度ソーシャルワーク実習意見交換会	職員 2 名
R7. 4. 22	生活支援コーディネーター初任者研修	職員 1 名
R7. 4. 25	住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 2025 年度 第 1 回正副代表幹事会	職員 1 名
R7. 5. 23	令和 7 年度 わいがや座談会「多職種連携」	職員 1 名
R7. 6. 2	令和 7 年度 障害支援区分認定調査員研修	職員 1 名
R7. 6. 3	住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会令和 7 年度 第 1 回幹事会	職員 1 名
R7. 6. 11	令和 7 年度災害相互支援協定に基づく連絡担当者会議	職員 1 名
R7. 6. 22	移動サービスネットワークみやぎ 2025 (令和 7) 年度通常総会	職員 1 名
R7. 6. 20	住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会第 2 回調査研究委員会	職員 1 名
R7. 7. 1	令和 7 年度 地域福祉・ボランティア業務担当者会議	職員 1 名
R7. 7. 12	令和 7 年度白百合女子大学 ソーシャルワーク実習打ち合わせ会	職員 2 名
R7. 7. 15	認知症サポーター養成講座	職員 1 名
R7. 7. 16	住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会「全国フォーラム」第 1 回委員会	職員 1 名
R7. 7. 22	生活支援コーディネーター初任者研修(角田市)	職員 1 名
R7. 7. 28	令和 7 年度宮城県生活支援コーディネーター養成研修	職員 1 名
R7. 7. 29	令和 7 年度市町村社会福祉協議会会長・事務局長会議	職員 1 名
R7. 7. 30	令和 7 年度災害ボランティアセンター準備・運営研修会	職員 1 名
R7. 7. 31	令和 7 年度県南地域生活支援コーディネーター交流会	職員 1 名
R7. 7. 29	令和 7 年度災害ボランティアセンター準備・運営研修会	職員 1 名
R7. 7. 9	令和 7 年度生活福祉資金事業新任担当者研修	職員 2 名
R7. 8. 1	令和 7 年度宮城県生活支援コーディネーター養成研修	職員 1 名

R7. 7. 30	令和 7 年度災害ボランティアセンター準備・運営研修会	職員 1 名
R7. 8. 6	仙南地区社会福祉協議会連絡会第 1 回職員担当者会議	職員 1 名
R7. 8. 7	令和 7 年度第 1 回柴田町住民によるまちづくり基本条例審議会	職員 1 名
R7. 8. 18	コロナ特例貸付の借受人へのフォローアップ支援に関する担当者会議	職員 1 名
R7. 8. 21	令和 7 年度宮城県生活支援コーディネーター養成研修	職員 1 名
R7. 9. 1	住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会「勉強会・第 2 回幹事会」	職員 1 名
R7. 9. 2-3	令和 7 年度 コミュニティソーシャルワーク実践研修	職員 1 名
R7. 9. 9	令和 7 年度宮城県生活支援コーディネーター養成研修 現状分析・課題解決コース②	職員 1 名
R7. 9. 25	令和 7 年度宮城県生活支援コーディネーター養成研修 地域づくり推進コース③	職員 1 名
R7. 9. 30	令和 7 年度生活支援体制整備事業 市町村事例発表会	職員 1 名
R7. 10. 3	令和 7 年度宮城県生活支援コーディネーター養成研修 現状分析・課題解決コース③	職員 1 名
R7. 10. 9	角田市社会福祉協議会『生きがいディサービス事業所』視察研修	職員 2 名
R7. 10. 20	令和 7 年度支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム	職員 1 名
R7. 10. 29	日本青年会議所と市町村社会福祉協議会の情報交換会	職員 1 名
R7. 10. 28	令和 7 年度宮城県生活支援コーディネーター養成研修 全体研修	職員 1 名
R7. 10. 30	令和 7 年度生活福祉資金貸付事業担当者会議	職員 2 名
R7. 11. 14	令和 7 年度 甲種防火管理新規講習	職員 2 名
R7. 11. 27	令和 7 年度宮城県市町村社会福祉協議会連絡会圏域会議（県南圏域）	職員 1 名
R7. 11. 28-29	令和 7 年度 コミュニティソーシャルワークステップアップ研修	職員 2 名
R7. 12. 4	令和 7 年度宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議市町村情報交換会 （県南部）	職員 1 名
R7. 12. 12	令和 7 年度 介護認定調査員現任研修	職員 1 名
R7. 12. 12	令和 7 年度災害ボランティア運営スタッフ研修（上級編）	職員 1 名
R8. 1. 22	住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 2025 年度第 5 回正副代表幹事会	職員 1 名
R8. 2. 10	住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 令和 7 年度「第 4・5 回幹事会」及び令和 7 年度「総会・行政説明」	職員 1 名
R8. 2. 24	令和 8 年度宮城県ボランティア活動総合補償制度及び地域総合補償制度に係る事務説明会	職員 1 名

2. 調査研究

柴田町社会福祉協議会 第4次地域福祉活動推進計画の地区共生会議を開催し、それぞれの地区で抱えている福祉課題に対する協議を行い、福祉の取り組みについて検討を行った。

(1) 柴田町社会福祉協議会 第4次地域福祉活動推進計画 地区共生会議の開催

第4次地域福祉活動推進計画（令和6年度～10年度）を推進するために、中学校区を単位とした地区共生会議（4地区）を開催し、地区の福祉課題について検討を行った。

○計画推進：令和7年度（2年目）

月	日	項 目	内 容
6	25	・地区共生会議の開催 （槻木地区13区～18B区）	具体的な取り組み内容について
	26	・地区共生会議の開催 （船迫地区）	船迫地区各地区でやっている良いことを情報共有し全地区でレベルアップを
7	7	・地区共生会議の開催 （船岡地区）	協議事項 1) さくら食堂視察の感想について 2) 目標1：世代間交流 みんながつながる場所づくり こども食堂の具体的取り組みの検討について （ラベルワーク）
	9	・地区共生会議の開催 （槻木地区19区～27区）	ラベルワーク 目標3：福祉環境の整った地域づくり 相談窓口や制度等の理解を深めるため、地域向け学習会や説明会を企画し福祉教育の推進をしよう
10	28	・臨時地区共生会議の開催 （槻木地区19区～27区）	槻木地区（19～27区）共生会議の委員長並びに今後の委員の選任について
11	20	・地区共生会議の開催 （槻木地区13区～18B区）	副委員長の選任について 18B区地域で開催している「名川寺様による寺カフェ」について紹介
	21	・地区共生会議の開催 （船迫地区）	～新しい人材を発掘する手法を考える～ 1. 事例発表：子ども食堂「みんなのテーブル」 2. 情報交換
	21	・地区共生会議の開催 （船岡地区）	～新しい人材を発掘する手法を考える～ 1. 事例発表：子ども食堂「みんなのテーブル」 2. 情報交換
12	16	・地区共生会議の開催 （槻木地区19区～27区）	委嘱状交付、副委員長の選任 第4次地域福祉活動推進計画と槻木地区（19～27区）の住民福祉計画についての勉強会
2	16	・地区共生会議の開催 （槻木地区13区～18B区）	～ワークショップ～ 地区で出前講座を活用して、福祉教育を推進しよう！
	17	・地区共生会議の開催 （槻木地区19区～27区）	「名川寺様による寺カフェ」視察研修の振り返り ワークショップ ～世代間交流 地域や施設などでどんなことをやってみたいか～
	18	・地区共生会議の開催 （船岡地区）	ワークショップ 仮説こども食堂設立プラン「こども食堂をつくろう！」
	24	・地区共生会議の開催 （船迫地区）	「第10区の取り組みについて」 グループワーク ～新しい人材を発掘する手法を考える～
3	13	次年度の地域共生会議の開催について	職員研修会「次年度の地域共生会議の開催について」 アドバイザー：東北福祉大学 共生まちづくり学部 教授 森 明人 氏

3. 事業の広報・啓発

町民の福祉に関する意識の高揚と社協に係る理解の促進のため、広報紙「社協だより」の発行ならびにホームページにより、社協事業の紹介と幅広い福祉情報を提供し、「地域福祉・社協活動」について理解を図ると共に、社会福祉への普及・啓発を行なった。

(1) 社協だより等の発行

福祉に対する理解と福祉活動への参加意識の高揚を図るため、広報活動として「社協だより」を発行(年5回:6月、8月、10月、1月、3月)し、全戸に配布しました。社協活動や取り組み及び福祉情報の提供、事業紹介に努めた。

(2) 広報・啓発

社会福祉協議会事業の広報・啓発に参考となる資料として、事業の経過記録、整理及びホームページを更新し、社協事業のPR及び情報公開を行った。

町広報おしらせ版(毎月1日号)「社協からのお知らせ」コーナー定期掲載。

(3) 福祉まつり2025開催

柴田町地域福祉センターを会場に開催された福祉まつりは、テーマである「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向けて、「人と人がつながる」楽しい仕組みの拠点づくりを目的に開催した。秋晴れのもと5団体のステージ発表をはじめ、各催しコーナーに商店、企業、施設、学校、団体等307人から御協力をいただいた。来場者数約1,193人 総参加数1500人となり盛会裡に行われた。

開催年月日	参加者	内 容
R7. 10. 4	参加総数 1,500 人	会場：柴田町地域福祉センター(屋内、屋外) ○餅まき(振る舞い) ○オープニング・セレモニー(チアダンス) ○屋外ステージ(応援団、ダンベル、サックス、よさこい) ○赤い羽根チャリティバザー ○駄菓子屋 ○もみのきカフェ ○オレンジカフェ(認知症カフェ) ○お楽しみ体験コーナー(木工ロボット作り体験) ○コミュニティカフェ ○キッズワールド ○模擬店(即売・移動販売車・キッチンカー) ○フリーマーケット

(4)柴田町社会福祉協議会 第18回社会福祉推進大会

「ともに育み つながりあう 地域の輪」を大会スローガンに開催しました。第1部では、柴田町の社会福祉の発展に功績のあった方々の表彰式典を開催。表彰状並びに感謝状を116名の方々に贈呈しました。第2部では、記念講演・コンサート「我妻（あづま）健太のテノールコンサート」と題し、テノール歌手 我妻 健太 氏とピアノ演奏可沼 美沙 氏によるコンサートを開催。その後、我妻さんの講話を聞き、心のバリアフリーについて考える機会に出来たと思います。

期 日：令和8年2月4日（水）午後1時～午後3時30分

会 場：槻木生涯学習センター

参加者：約130名

4. 連絡調整事業

社協支部と連携し、身近な地域において、住民相互の支えあい活動を促進し、地域において支援を必要とする人々に対して、小地域福祉活動を展開し地域福祉の推進を図った。

(1)支部の育成

地域福祉活動の充実を図るため、社協と支部との連携を強め社協事業への理解を深めるため、支部長会議を開催した。

また、社協支部への地域福祉活動推進事業補助金の交付を行い、支部の活動促進を図った。

支部長会議の開催状況

開催年月日	出席者	議案と審議の経過
R7. 4. 30	支部長43名	社協支部長会議を次のとおり実施した。 会議内容 1) 社協における支部長との連携・協力について 2) 令和7年度 社協事業計画について 3) 令和7年度 事業費補助金等交付申請手続きについて ア) 地域福祉活動推進事業費補助金 イ) 柴田町アクティビティサービス「いこいの日」促進事業補助金 (高齢者・多世代交流活動) ウ) 柴田町アクティビティサービス「いこいの日」促進事業物価高騰対策 緊急支援補助金 4) 第4次地域福祉活動推進計画 地区共生会議について
R7. 6. 17	支部長46名	社協支部長会議を次のとおり実施した。 会議内容 1) 令和6年度 社協会員加入状況について 2) 令和7年度 社協会員加入促進について
R7. 9. 17	支部長42名	社協支部長会議並びに赤い羽根共同募金運動推進会議を、次のとおり実施した。 また、会議のあとに研修会を開催した。 ●会議

		【柴田町社会福祉協議会】 1) 令和7年度 社協会員加入推進状況について 2) 「第18回社会福祉推進大会」開催に伴う表彰該当者の推薦の協力について 【柴田町共同募金委員会】 1) 令和7年度 赤い羽根共同募金運動協力依頼について 2) 令和7年度 赤い羽根共同募金運動の推進について 3) 資材について 4) その他 ●研修会 講 話 「自分の幸せ、地域の幸せを考えよう」 講 師 まちづくりアドバイザー 遠藤 智栄 氏
--	--	--

(2)地域支え合い推進研修会

開催月日	開催場所	参加者（参加人員）
R7. 6. 20	柴田町地域福祉センター	福祉推進委員、支部長、民生児童委員 (100名)
講演 演題 「地域共生社会」政策におけるケアリングコミュニティ ～地域での新しい支え合いの構築に向けて～ 講師 東北福祉大学 社会福祉学課 准教授 大石 剛史 氏 内容 多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズを踏まえつつ、ここ20年弱の地域福祉の動向と地域包括ケアから地域共生社会への認識を深めるとともに、実践事例から今後の予防福祉の重要性について学びました。		

社会福祉協議会の事業内容を理解してもらい、会員会費の増収につなげるため、福祉推進委員説明会を開催した。

●福祉推進委員説明会

開催月日	開催時間	開催(支部)場所	参加者(参加人数)
R7. 6. 28	午前10時から 午前11時まで	船迫生涯学習センター	29C区班長会議(40名)
R7. 7. 5	午前10時から 午前11時まで	29A区集会所	29A区役員及び福祉推進委員 (40名)
R7. 7. 5	午後7時から 午後7時30分まで	17B区集会所	17B区班長会議(40名)

令和 7 年度 支部及び福祉推進委員の状況

行政区	推進委員数	備考	行政区	推進委員数	備考
1	1 6		1 3	1 8	☆
2	6		1 4	1 4	
3	1 6		1 5	1 5	
4	3 0	☆	1 6	1 7	
5	1 3		1 7 A	8	
6 A	5		1 7 B	3 6	☆
6 B	1		1 8 A	2 9	☆
7 A	5		1 8 B	1 5	☆
7 B	1 6		1 9	7	
8	7		2 0	7	
9 A	6		2 1	8	☆
9 B	1 1	☆	2 2	6	☆
1 0	2 2		2 3	6	
1 1 A	2 0	☆	2 4	6	
1 1 B	2 9		2 5	5	☆
1 1 C	4 2	☆	2 6	1 1	☆
1 1 D	1 1		2 7	6	
1 2 A	1 7		2 8	2 1	☆
1 2 B	1 8	☆			
2 9 A	3 4	☆			
2 9 B	2 4				
2 9 C	4 1	☆			
2 9 D	4 1	☆			
3 0	3 0	☆	合 計	6 9 6	1 8

(注) ☆印は、行政区の班長が担当

(3)自主財源の確保

社協の地域福祉事業を展開していくための貴重な財源となる社協会費について、町内各社協支部を単位として会員の加入を推進し、社協財源基盤の安定化を図った。

また、町内の企業廻りを実施し、企業へ社協事業について説明を行い、地域福祉への理解を深めるとともに、企業会員の加入推進に努めた。さらに、各事業等でも積極的に社会福祉協議会のPRに努めた。令和7年度は、会員数は前年度実績を下回ったが、会費金額は、前年度実績より微増となり、町内各世帯や企業から社協会費への多大なるご協力を頂いた。

※令和7年度の社協会員加入状況については、次頁参照。

[illegible]

5. ふれあい福祉センター事業

生活上の心配ごと、悩みごと等に対する相談に応じるとともに、相談ニーズに対応し、助言、指導、他相談機関への紹介等を行うことで、適切な解決に導いた。

(1) 福祉サービスに関する苦情解決体制の整備

社会福祉法第82条(社会福祉事業の経営者による苦情の解決)の規定に基づき、柴田町社会福祉協議会の福祉サービス提供に伴う利用者等からの苦情への適切な解決体制に努めた。

(2) ふれあい福祉センター(生活相談所)の運営

生活相談員を4名配置し、毎週火曜日午前9時から正午まで生活相談所を開設した。

相談取扱件数及び処理状況(令和7年度)

	相 談 事 項	相談件数	処 理 状 況			
			解 決	民生委員	他機関	その他
1	生 計	4	2	0	1	1
2	年 金	0	0	0	0	0
3	職 業・生 業	0	0	0	0	0
4	住 宅	0	0	0	0	0
5	家 族	1	0	0	1	0
6	結 婚	0	0	0	0	0
7	離 婚	1	0	0	1	0
8	健 康・保 健	0	0	0	0	0
9	医 療	0	0	0	0	0
10	精 神・衛 生	2	0	0	1	1
11	人 権・法 律	0	0	0	0	0
12	財 産	2	2	0	0	0
13	事 故	1	0	0	1	0
14	児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0
15	教 育	0	0	0	0	0
16	障害(児)者福祉	0	0	0	0	0
17	母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0
18	老 人 福 祉	4	2	0	2	0
19	苦 情	0	0	0	0	0
20	そ の 他	1	0	0	0	1
合 計 件 数		16	6	0	7	3

(3) 生活困窮者支援事業 フードバンク、フードパントリー

町民、企業、行政、団体などから食料等の寄付を受取り、生活困窮世帯やひとり親世帯に対して食料支援を行った。

・食料等受け入れ件数 町民…10件、企業…14件、行政…3件 計 27件

・食料支援件数 生活困窮による個別申請・・・・・・・・・・33件
 夏季休業に伴う子育て世帯への食料支援 16件
 団体・施設・ボランティア・・・・・・・・・・26件
 包括対応案件・・・・・・・・・・5件
 歳末たすけあい運動に併せた食料支援・・49件 計 129件

6. 地域生活支援事業

2040年問題を見据えて地域で安心して暮らしていくことを支える活動や小地域における地域生活課題を住民主体で、お互いに支え合っていく福祉活動がさらに推進されるよう研修会等の取り組みを行った。

(1) 小地域福祉活動の推進

①柴田町アクティビティサービス「いこいの日」促進事業

2025年～2030年には、いわゆる団塊世代がすべて75歳～80歳以上になることを考慮すると、地域の人口構成なども大きく変化人口構成なども大きく変化することが予想されます。大介護時代の到来を見据えつつ重層的な生活支援・介護予防の体制整備を進めるための研修会の取り組みを行った。

②柴田町アクティビティサービス「いこいの日」促進事業研修会

開催年月日	参加者	実施内容
R7.5.20	社協支部いこいの日 ボランティア 136名	第1回「いこいの日」促進事業研修会 講話・実技指導 テーマ「健康寿命を伸ばすレクリエーション」 講師 仙台大学 体育学部 健康福祉学課 教授 小池和幸氏 研修では、アイスブレイク、早口ことば、気持ちに合わせてジャンケンポンなどの実技研修を学びました。
R7.6.27	社協支部いこいの日 ボランティア 130名	第2回「いこいの日」促進事業研修会 講演 演題「人口減少における高齢者の生活支援」 ～地域のつながりの再構築を目指して～ 講師 涌谷町社会福祉協議 地域福祉課 地域支援係 主任 SC 高橋里花氏 研修では、大介護時代の到来を踏まえ、地域づくりに先進的に取

		り組んでいる涌谷町社会福祉協議会の生活支援コーディネーターから重層的な生活支援天下無介護予防の体制整備を進めるための具体的なあり方や対応事例について報告いただきました。
R7.9.9	社協支部いこいの日 ボランティア 108 名	第 3 回「いこいの日」促進事業研修会 基調講演 演題「人がつながるしくみつくる 住民力で自然災害に立ち向かう」 講師 日本社会事業大学 大学院福祉マネジメント研究科 専門職大学院 講師 北川 進 氏 講師北川氏の災害対応の経験を踏まえたお話しから日々の地域のつながりが災害が起こった時に命を守ることに繋がることを認識しました。

③「いこいの日」実施地区の実施内容(世代間交流事業を含む)

社協支部等	名称	内容・参加者	実施回数
第 1 区	いこいの日	ゲーム、工作など 参加者延べ122人 従事者 85人	年 9 回
第 2 区	さわやかいこいの日	講話、移動研修など 参加者延べ33 人 従事者 6人	年 2 回
第 3 区	さくらの日	誕生祝、脳トレ、軽運動、ゲームなど 参加者延べ213人 従事者 0人	年 5 回
第 4 区	ふれあいの日	レクリエーション、移動研修、お楽しみ会 参加者延べ122人 従事者 36人	年 5 回
		世代間交流型 1：ボーリング大会、子ども交流会 参加者 親子17人/10人	年 2 回
		世代間交流型 2：スポーツレクリエーション 参加者 親子17人、高齢者36人	年 1 回
第 5 区	みどりの日	移動研修会、出前講座、移動研修など 参加者延べ182人 従事者 7人	年 4 回
		世代間交流型 2：世代間交流まつり 参加者 83人	年 1 回
第 6 A 区	いこいの日	軽運動、シルバー川柳、歌など 参加者延べ138人 従事者 19人	年 3 回

第6B区	いこいの日	講話、軽運動、ゲームなど	年 3回
		参加者延べ46人 従事者 6人	
第7A区	いこいの日	早口ことば、100歳体操、移動研修など	年 4回
		参加者延82人 従事者 4人	
第7B区	いこいの日	健康100歳体操、歌、ゲーム	年 3回
		参加者延 81人 従事者 14人	
第8区	きてけさい	ひな祭り、クリスマス会、移動研修	年 3回
		参加者延87人 従事者 22人	
第9A区	どてっこ憩いの日	健康教室、クリスマスコンサート、バスハイク	年 5回
		参加者延べ212人 従事者 22人	
		世代間交流型1：クリスマス会とランチ 参加者 子ども33人、大人20人	年 1回
第9B区	なかよし憩いの日	世代間交流型2：花苗植え活動 参加者 親子19人 高齢者32人	年 1回
		体操、移動バス旅行、健康講話、体操など	年 3回
		参加者延べ76人 従事者 14人	
第10区	ハッピー10区	世代間交流1：レクリエーション大会 参加者 29人	年 1回
		世代間交流型2：ボウリング大会 参加者 43人	年 1回
第11A区	きらきらサロン	全員声出し、ロコモ体操、移動研修、七夕作りなど	年10回
		参加者延べ133人 従事者 81人	
第11B区	いこいの日	健康体操、ゲーム、映画、レクリエーションなど	年12回
		参加者延べ190人 従事者 122人	
第11C区	いこいの日	世代間交流型2：夏祭り大会 参加者 親子31人 高齢者21人	年 1回
		出前講座、健康講話、ミニ運動など	年 2回
第11D区	いこいの日	参加者延べ34人 従事者 33人	
		新緑を楽しむ、七夕会、ひな祭り会など	年 4回
第11E区	いこいの日	参加者延べ148人 人従事者 55人	

第 1 1 D 区	いこいの日	寄席を鑑賞、フレイル予防講座、紙芝居	年 3 回
		参加者延べ 77人 従事者 22人	
第 1 2 A 区	中名生親交会	健康講話、ゲーム、レクリエーションなど	年 13 回
		参加者延べ 216人 従事者 46人	
第 1 2 B 区	検水集会所	ゲーム、観覧、出前講座、体操など	年 6 回
		参加者延べ 70人 従事者 47人	
第 1 3 区	しあわせの日	七夕飾り、ゲーム、花見、ひなまつり、クリスマス会など	年 5 回
		参加者延べ 80人 従事者 52人	
第 1 4 区	ほほえみの会	七夕、くじ引き、クリスマス会	年 3 回
		加者延べ 45人 従事者 36人	
		世代間交流型 1：七夕作り 参加者 53人	年 1 回
第 1 5 区	やすらぎの会	クリスマス会、ひな祭り会、移動ランチ	年 4 回
		参加者延べ 83人 従事者 54人	
第 1 6 区	いきいきサロン	講話、出前講座、クリスマス会	年 2 回
		参加者延べ 40人 従事者 43人	
		世代間交流型 2：ボーリング大会 参加者 33人	年 1 回
第 1 7 A 区	ふれあいの会	健康体操、脳トレ、ゲーム、クリスマス会、七夕等	年 9 回
		参加者延べ 164人 従事者 96人	
第 1 7 B 区	宝 寿 会	出前講座、軽運動、ゲームなど	年 3 回
		参加者延べ 73人 従事者 37人	
		世代間交流 2：凧作り、凧揚げ	年 1 回
第 1 8 A 区	いこいの日	防災講話、七夕、健康講話、軽運動など	年 4 回
		参加者延べ 112人 従事者 39人	
第 1 8 B 区	げんき会	お花見、文化祭、七夕、お楽しみ会など	年 9 回
		参加者延べ 125人 従事者 153人	
第 1 9 区	いこいの日	情報提供、安否確認、弁当配布など	年 1 回
		参加者延べ 25人 従事者 6人	

第21区	ふれあいサロン	防犯講話、健康講話、ゲーム、社会見学など 参加者延べ 100人 従事者 19人	年 4回
第23区	いこいの日	演舞鑑賞 参加者 2人 従事者 2人	年 1回
第25区	葉坂いこいの日	レクリエーション 参加者 5人 従事者 5人	年 1回
第28区	いこいの日	七夕飾り、お茶会 参加者延べ 99人 従事者 0人	年 4回
第29A区	いきいきサークル	健康講話、演芸会、健康づくり講話 参加者延べ 305人 従事者 165人	年10回
第29B区	北船岡支部	ボッチャ、コミュニケーション麻雀、折り紙など 参加者延べ 763人 従事者 58人	年24回
第29B区	二本杉茶屋	体操、ゲーム、出前講座など 参加者延べ450人 従事者 61人	年24回
第29C区	ほのぼのサロン	移動研修、ゲーム大会、防犯出前講座など 従事者 53人 参加者延べ56人	年 3回
第29D区	にこにこ会	フラワーアレンジ、ゲーム、脳トレ、コミュニケーション麻雀など 参加者延べ305人 従事者 255人	年19回
第30区	ふれあいの日	レクリエーションなど 参加者延べ136人 従事者 51人	年 2回

④レクリエーショングッズの貸し出し

地区の行事など子どもから高齢者まで多世代交流の場を増やすために、レクリエーショングッズの利用を推進しています。

【 レクリエーショングッズ : 35種類 】

令和7年度 貸出状況

貸出件数： 149件

貸出先： 地区の行事 101件、子ども関係施設 21件、
高齢者・障害者施設 18件、その他団体 9件

（２）高齢者福祉の推進

①第41回ふれあい交流会（ひとり暮らし高齢者）の開催

75歳以上（介護保険サービス利用者対象外）のひとり暮らし高齢者を対象に、お互いの親睦を深めるとともに、楽しい一日を過ごすことを目的に開催した。

開催年月日	参加予定者	内 容
R7. 11. 18	参加者 93 名	町内に住む75歳以上のひとり暮らしの方々を対象に、みなさんが参加できるコンサートを開催し、お互いの親睦を深めるとともに楽しい1日を過ごすことを目的に開催。 (コンサート演奏：阿部 弘子 氏) (会場・柴田町地域福祉センター)

なつかしい昭和歌謡の世界と題して、日頃の孤独感の解消やお互いの親睦を深める目的でコンサートを開催しました。民生委員と連携し、本会活動の「高齢者の引きこもり防止」や「災害時の要支援者の見守り」活動としても再確認を図ることが重要と考えられます。今後も、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれることから高齢者の支援事業として、民生児童委員と連携を密に進めていきます。

②第12回ひと足早いクリスマスコンサート（ひとり暮らし高齢者）の開催

町内に住む70歳以上75歳未満の（介護保険サービス利用者対象外）のひとり暮らし高齢者、70歳以上の日中ひとり暮らし高齢者を対象に、お互いの親睦を深めるとともに、心温まる時間を楽しんでいただくことを目的に開催した。

開催年月日	参加者	内 容
R7. 11. 19	参加者 51 名 職員・スタッフ 14 名	町内で音楽教室を主宰している 阿部 弘子先生をお迎えして開催しました。「なつかしの昭和歌謡の世界」をコンセプトにしたコンサートで、今年は昭和100年を迎え、これまで国民に愛されてきた歌謡曲について年代順に振り返るコンサートになりました。また、後半はクリスマスに関する演奏を楽しみました。参加者のみなさんは、演奏された昭和歌謡について懐かしく振り返り楽しい時間を過ごしました。 民生委員児童委員協議会の協力を得て、開催しました。

（３）子育て支援事業

少子化や核家族が進む中で、子どもを生み、育てやすい社会をつくるために子育て機能の強化が必要とされている。家庭や地域における子育て機能が低下する中で、子育てについて悩みを共有し、支え合い理解し合える交流広場として、「子育てサロン」や「リズムあそび」を実施しました。子育て支援事業として定着し、社協事業理解の啓発にもつながっています。

① 子育てサロン「きらら」の開催

地域で子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりができる場をつくることを目的に、毎月第2・4金曜日（きらら／会場：柴田町地域福祉センター）年23回開催した。

「きらら」では、オカリナ演奏、大型絵本などのお楽しみ会を実施し、しばたおもちゃ病院を同時開催（偶数月）した。

実施日	参加人数	ボランティア	おもちゃHP ボランティア	実施日	参加人数	ボランティア	おもちゃHP ボランティア
4月 11 日	12	7	2	10月 10 日	10	9	4
4月 25 日	8	5		10月 24 日	16	10	
5月 9 日	12	10		11月 14 日	19	9	
5月 23 日	10	6		11月 28 日	14	5	
6月 13 日	7	9	4	12月 12 日	8	10	4
6月 27 日	23	7		1月 9 日	10	10	
7月 11 日	4	10		1月 23 日	31	6	
7月 25 日	38	10		2月 13 日	20	9	2
8月 8 日	15	11	4	2月 27 日	29	9	
8月 22 日	27	8		3月 13 日	12	8	
9月 12 日	10	9		3月 27 日	23	8	
9月 26 日	23	8		計	381	193	20

② 「親子でリズム遊びをしよう！」の開催

親と子の交流を目的とした、「親子でリズム遊びをしよう」をボランティアグループ杉の子福祉コーラスが、野町純子先生と伊澤美和子先生のご指導のもと7/25、11/11（2回）開催。軽やかな歌声を聞きながら親子一緒にリズムに乗って楽しい時間を過ごしました。「子育てサロン きらら」、槻木児童館「なかよし広場」との同時開催なので、気軽に参加しやすいイベントとなった。

（4）共生型交流サロン「みんなの居場所」等の開催

① 柴田町地域福祉センター・サロンコンサートの開催

福祉教育やボランティア活動等を通じて、活動の楽しさやボランティア活動のPR。

柴田町地域福祉センターが住民にとって、より身近に開かれた施設になるために、地域交流や町内に被災されている方々の交流の場「地域の居場所」として開催。

開催月日	参加者数	内 容
5月14日（水）	47	トーンチャイム&大正琴 (レインボースターズつきのき&大正琴つきのき)
6月 4日（水）	71	オカリナ（オカリナサークル 花みずき）

7月 7日 (月)	8 1	昭和ポップス (B B 4 & G G 4)
8月 1日 (金)	2 5	特別企画 (社協)
9月 10日 (水)	4 9	舞踊 (伴東流 綾の会)
10月 7日 (火)	3 7	ギター演奏 (ル・レーブギターアンサンブル)
11月 5日 (水)	5 5	杉の子福祉コーラス
12月 10日 (水)	7 4	サックス演奏 (マイケル秦 氏)

② 「産直市場」の開催

地域住民のみなさんに地域福祉センターを知っていただき、誰もが気軽に社協事業への参加または集える場としてもらえるよう産直市場をスタートしました。

生産者と消費者（地域住民）との交流を促進しつつ、地産地消の推進を図りながら生産者と福祉団体との交流を目的としております。

気軽に子どもから高齢者、障がい者誰もが集える場として地域福祉センターに足を運んでいただき多世代交流を図ってもらうために開催している。

期 日：毎月第2金曜日

協力団体：農産物直売所みでがいん、斎藤園芸、ほっとファーム(株)ふなおか、旧産地直売所プチみちの駅 とみかみ有志の会、地域活動支援センター しらさぎ

③ コミュニケーション麻雀「雀のお宿」

シニアの仲間づくりや交流として、地域で活発な居場所づくりとして開催した。

期 日：令和7年4月1日・5月13日・6月3日・7月1日・8月5日・9月2日・
10月7日・11月4日・12月2日・1月6日・2月3日・3月3日

毎月第1火曜日午前開催

協力団体：しばた健康麻雀の会

(5) 社協こども特別食堂

「子ども貧困対策」「子育て支援」「地域づくり」の3つを軸に、子どもを真ん中に置いた多世代交流の地域の拠点として「社協こども特別食堂」を実施した。

「こども食堂」と名はついていますが、対象者は限定しておらず幼児から学生、高齢者などだれでもどうぞの居場所として、人と人とのつながりを育む居場所づくりに取り組みました。

① 令和7年度社協こども特別食堂参加人数

月1回第4金曜日(小中長期休業期間中は月2回)柴田町地域福祉センター内において会食形式で食事を提供。

実施日	大人	小・中	未就学児	ボランティア等	計
4月25日	67	0	5	15	87
5月23日	76	0	6	17	99
6月30日	72	0	13	14	99
7月18日	67	12	14	14	107
7月25日	97	35	21	13	166
8月8日	55	29	10	14	108
8月22日	83	15	10	17	125
9月24日	77	0	13	13	103
10月24日	98	0	12	18	128
11月28日	90	0	10	16	116
12月24日	109	25	23	15	172
1月23日	73	0	18	19	110
2月27日	99	0	17	17	133
3月27日	117	60	17	19	213
合 計	1,180	176	189	221	1,766

② 柴田町社会福祉協議会こども食堂登録ボランティア 先進地視察研修会の開催

開催日： 令和7年12月11日(木)

視察場所： 地域共生食堂 東松島市「だんらんかぞく」

講 師： だんらんかぞく 会長 昆野美津子 氏

内 容： 運営ノウハウ、リスク管理、こども食堂について学ぶことができた。

参加者： 社協こども特別食堂登録ボランティア15名 社協職員3名

(6) 町内こども食堂連絡会の開催

開催日：令和7年8月28日(木)

参加者：6団体(9名)さくら食堂、しんえいをもっと元気にする会、みんなのテーブル、土手内食堂、SOMPO流こども食堂、社協こども特別食堂

内 容：連絡会会員の紹介

連絡会設置要綱の説明

情報交換(各こども食堂の活動紹介)

こども食堂に関する資料説明

(7) 住民参加型の生活支援サービスの推進

① ふれあいネットワーク互助事業

社協会員互助の支援活動として、住民参加型の在宅福祉サービスを展開し、利用者の在宅での生活を支える活動（移動支援、家事援助支援等）に取り組みました。広報誌等で事業の啓発の取り組みを行った。

② 協力会員研修等内容

開催年月日	参加者	会議及び研修内容
R7. 5. 20	協力会員 4 名	○「福祉車両操作方法について」 講師：柴田町社会福祉協議会

③ 協力会員の活動状況

住民のたすけあい事業として、ふれあい協力会員の協力のもと、移動制約者（障害のある方や介護認定の高齢者あるいは透析患者）への移動サービスとして、通院介助や施設への移動などセダン車や福祉車両でサービスを提供した。

また、家事援助として、掃除などの支援を行うことにより本人または家族の負担軽減を図った。

近年は特に移動サービスの利用が増加傾向にあり、利用者については後期高齢者が増加している。

今後も利用会員の増加が見込まれるため、協力会員の増員が求められているが、新規ボランティアが集まらない状況にあり、対応が困難になってきているので対策を検討していく必要がある。

④福祉有償運送に係る道路運送法第 79 条関連

ふれあいネットワーク互助事業で実施している移動サービスについて、事務局として福祉有償運送に係る運営協議会等へ参加し、道路運送法第 79 条の登録更新申請を行い、宮城運輸支局より新たに登録証の交付を受けることができた。

開催年月日	参加者	報告事項
R8. 2. 25	事務局 1 名	令和 7 年度仙南地区福祉有償運送運営協議会にて更新登録が承認される。

令和 7 年度会員数（実人数）

協力会員 12 名（移動サービス） 利用会員 40 名（移動サービス）

協力会員 1 名（家事援助） 利用会員 1 名（家事援助）

○移動サービス車両内訳

セダン車両（公用車）	セダン車両（私用車）	福祉車両（公用車）	福祉車両（私用車）
5 台	1 台	3 台	0 台

○活動（利用）の状況

家事援助	移動サービス	その他
回数	回数	回数
10	824	0

(8) 福祉機器貸与事業

地域住民(会員)に対しての在宅福祉として、福祉機器貸与事業を行い、要援護者とその家族の負担を軽減することを目的に次のサービスを提供した。

①福祉機器等の貸与

在宅介護者等を対象に介護用ベッドや車いす等の福祉機器の貸与や子育て支援用品等の貸し出しを行った。車椅子やチャイルドシートなどの貸与申請を希望する方が多く、短期利用も多かった。今後も利用の増加が見込まれるため、台数の充実を図ります。

令和7年度 福祉機器貸与状況

(1ヶ月以内の短期含む)

貸与品目	保有総数	令和7年度末の総貸与数	令和7年度貸与数
介護用ベッド	56台	37台	6台
車イス	128台	113台	55台
チャイルドシート	151台	130台	94台
ジュニアシート	32台	28台	23台
ベビーベッド	30台	26台	17台
ベビーバス	22台	18台	10台
ベビーカー	30台	20台	17台

7. ボランティアセンター活動事業

地域の連帯感や人間関係の希薄化が問題となっている中、多様なボランティア・市民活動の支援と住民参画の基盤づくりと時代求められるボランティア養成講座を図った。

(1) ボランティア活動の推進(ボランティアセンター機能を含む)

地域ボランティアの活動促進を図るため、ボランティア養成講座を開催した。

また、ボランティア相談、情報の提供、ボランティア活動者のための傷害・賠償責任保険制度の加入促進等を行った。

①福祉防災啓発活動

災害ボランティア活動内容や現状について説明及び災害への備え等について、福祉体験等、参加対象者に応じた企画プログラムの出前講座を実施した。子供から高齢者まで幅広く福祉防災ワークショップを楽しみながら実施することができた。

(延べ14回413名)

No.	開催年月日	依頼者	参加者	内容
1	R7.5.10	梶木下町婦人防火クラブ	50名	過去の災害を振り返って
2	R7.6.5	子育て学びサークルさくらんぼう	23名	防災ワークショップ(段ボールベッド、テント、防災食)
3	R7.6.11	おぼっちゃサークル	21名	防災レクリエーション
4	R7.6.14	原町福寿会	22名	災害と健康について
5	R7.6.21	北船岡婦人防火クラブ	17名	過去の災害を振り返って、防災食づくり
6	R7.8.1	東船岡放課後児童クラブ	60名	防災ワークショップ(避難所体験、震災DVD)

7	R7. 8. 22	塩釜市立第一中学校	15 名	教員向け防災 (HUG)
8	R7. 10. 11	船岡生涯学習センター	12 名	災害時に役立つ料理教室 (船岡)
9	R7. 10. 18	船岡生涯学習センター	12 名	災害時に役立つ料理教室 (西住)
10	R7. 10. 26	第 11A 行政区 (町民レク)	60 名	防災クイズ
11	R7. 11. 1	第 7B 行政区	50 名	防災訓練 (防災出前講座)
12	R7. 12. 8	二本杉茶屋	25 名	防災出前講座 (防災食プレゼント)
13	R7. 12. 23	杉の子地域活動クラブ	6 名	防災ワークショップ (防災クイズ)
14	R8. 1. 8	船迫放課後児童クラブ	40 名	防災ワークショップ (防災クイズ)

②災害ボランティアセンター「大規模災害時に備える研修会」

研修会では、区長及び防災担当者、民生委員が集まり、過去の災害を振り返り、災害発生時にはどのようなことが起こるのか、どのような行動をとればいいのかを、改めて考えるきっかけとし、地域の実情と照らし合わせ、「災害にも強い地域」を目指すことを目的に開催した。

開催年月日	参加者	内 容
R8. 2. 26	75 名	○「災害発生時のそれぞれの役割について」 講師 ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原 公彦 氏

③被災者支援事業「交流サロンさくら」の開催

東日本大震災後から 15 年が過ぎ、柴田町で生活している被災世帯も 17 世帯となっている。町内在住の被災者の方々を対象に、参加者同士の交流や情報交換を目的に「柴田町傾聴の会ほのぼの」の協力を得ながら開催した。

開催月日	対象者	協力者	開催月日	対象者	協力者
4 月 7 日	5	5	12 月 10 日	2	4
5 月 14 日	5	4	1 月 19 日	4	5
6 月 4 日	4	4	2 月 9 日	3	5
7 月 7 日	2	4	3 月 9 日	2	6
8 月 1 日	2	4			
9 月 10 日	5	4			
10 月 7 日	3	4			
11 月 5 日	4	5	合 計	41	54

④ 令和 7 年度ボランティア養成講座の開催

ボランティア入門講座

住民生活におけるニーズは、家事援助、見守り、子育て支援、地域の足の確保、地域の交流など幅広く存在します。今後、高齢化や家族形態・地域社会の変容により暮らしを支える機能が低下し、新たな公共私協力の関係により、暮らしを維持する必要性が高まっています。

今後、住民ニーズを満たす共助によるサービス提供体制を構築するために、あらゆる世代が、ボランティアとして、多様な実践に取り組むことが期待されています。令和 7 年度は、運動を切り口として、参加者を集い、ボランティアに興味をもってもらうことを目的に開催した。

開催年月日	参加者	内 容
R7. 9. 18	12 名	「運動指導の基本について」 講師：仙台大学 助教授 田中 亨 氏 新助手 大内 萌子 氏

⑤ボランティア保険の加入状況

住民のボランティア活動が安全・安心に活動できるように、活動中の傷害保険・賠償保険制度について、加入を周知し手続き事務を行った。

ボランティア保険（行事保険含む）加入状況（令和8年3月31日現在）

年間手続き件数	282件	年間加入人数	14,589名
---------	------	--------	---------

※天災（個人2名）・柴田町災害ボランティアセンター登録（2名）

（２）福祉教育推進

子どものころから福祉への理解を深めるため、社協では学校からの依頼を受け、指導内容や狙い等を担当教諭と打ち合わせを密にし、福祉体験の指導を行った。また、継続して防災学習を行うことにより災害への意識を高めてもらえるように働きかけた。

①防災福祉体験学習への協力(出前講座)（実施回数：25回 延べ1,303人）

No.	開催年月日	依頼者	参加者	内 容
1	R7. 6. 10	東船岡小学校 4 学年	45	車椅子・白杖体験
2	R7. 6. 24	船迫小学校 4 学年	57	過去の災害を振り返って
3	R7. 7. 3	柴田小学校第 4 学年	11	車椅子・白杖・点字・ニュースポーツ等
4	R7. 9. 25	西住小学校第 1 学年	15	防災紙芝居
5	R7. 9. 25	西住小学校第 2 学年	18	防災 3 択クイズ
6	R7. 9. 25	西住小学校第 3 学年	26	防災 KYT(危険予知トレーニング)
7	R7. 9. 25	西住小学校第 4 学年	22	防災ビンゴ
8	R7. 9. 25	西住小学校第 5 学年	15	災害に備える(段ボールベッド等)
9	R7. 9. 25	西住小学校第 6 学年	17	クロスロード
10	R7. 9. 26	船岡小学校第 4 学年	82	車椅子・白杖体験
11	R7. 11. 12	西住小学校 4 学年	22	車椅子・白杖体験
12	R7. 11. 25	船迫小学校 3 学年	54	手話・白杖体験
13	R7. 11. 26	船迫小学校 3 学年	54	車椅子・ニュースポーツ体験
14	R7. 11. 28	船迫小学校 2 学年	47	地域福祉センター見学
15	R7. 12. 2	船岡中学校 1 学年	131	KYT（危険予知トレーニング）
16	R7. 12. 3	船岡中学校 3 学年	143	仮想避難所体験(段ボールベッド等)
17	R7. 12. 9	船迫中学校 1 学年	43	クロスロード
18	R7. 12. 9	船迫中学校 2 学年	57	DIG（バーチャルマップ体験）

19	R7. 12. 16	船迫中学校 3 学年	45	HUG（避難所運営ゲーム）
20	R7. 12. 10	槻木中学校 2 学年	75	DIG（バーチャルマップ体験）
21	R7. 12. 17	槻木中学校 3 学年	84	HUG（避難所運営ゲーム）
22	R8. 1. 20	柴田小学校 5 学年	7	避難所体験、サバメシづくり
23	R8. 2. 27	槻木小学校 3 学年	74	白杖体験
24	R8. 3. 3	槻木小学校 3 学年	74	ボッチャ体験
25	R8. 3. 17	槻木中学校 1 学年	85	被災時のグッズ活用について

②夏・ボランティア体験学習（小学1年～6年対象）

協力：福祉・防災学習サポーター

小校生を対象に、福祉について理解を深め、「思いやりの心」を育て、ボランティア活動・防災学習を通して、地域や学校におけるボランティア活動の育成と促進を図ることを目的として開催した。

開催日	参加者	体 験 内 容(対象学年)
R7. 8. 5	29 名	1) 認知症サポーター養成講座 2) 災害について考えよう（防災食の試食など） 協力：柴田町地域包括支援センター、福祉防災学習サポーター

8. 共同募金配分事業

地域福祉の推進という共通の目標の下、共同募金会と社協がより密接な連携を図り、その広報・啓発を積極的に協力した。

（１）歳末たすけあい募金配分事業

「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、在宅対象世帯を配分対象世帯への募金配分と各地域における災害時に備え、福祉的な支援活動に対する事業配分を歳末たすけあい募金配分委員会の審議を経て配分された。

令和7年度 歳末たすけあい募金配分実績

区分	配分対象	算定基準	配分額
在宅対象世帯	子育て中で生活支援を必要とする世帯	15,000 円 × 15 世帯	225,000
	母子世帯・父子世帯 両親のいない児童・生徒養育世帯、 交通・労災遺児養育世帯	15,000 円 × 50 世帯	750,000
	重度心身障害児者同居世帯	15,000 円 × 22 世帯	330,000
	65 才以上の独り暮らし高齢者（世帯）	15,000 円 × 79 世帯	1,185,000
	65 才以上の寝たきり高齢者同居世帯	15,000 円 × 0 世帯	0
	65 才以上の高齢者で構成する世帯	15,000 円 × 2 世帯	30,000
	その他援護を必要とする世帯	15,000 円 × 5 世帯	75,000
	小計	15,000 円 × 173 世帯	2,595,000
地域住民が参加できる福祉活動の展開に対する支援（「いこいの日」促進事業、地域世代間交流事業、フードバンク事業支援）			450,000
地域福祉の参加の促進に対する支援（次世代育成事業）			391,903
善意銀行への預託（災害見舞金の贈呈、生活支援金）			77,367
歳末たすけあい運動推進費（事務局諸経費）			250,000
合 計			3,764,270

9. 資金貸付事業

低所得世帯に対し、適正な資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより借受世帯の自立更生を促進した。

(1) 生活安定資金の貸付

目的：柴田町に居住する低所得者に対し、小口の生活資金の貸付と必要な援助、指導を行なうことにより自立更生と生活安定に寄与することを目的とする。

○貸付相談件数（2件）

○貸付決定/償還件数(1件/0件)

(2) 生活保護つなぎ資金の貸付

目的：生活保護法による保護の申請を行い、保護が適用されるまでの間、手持ち金がなく、生活に支障をきたす恐れのある方に対して、生活保護つなぎ資金の貸付を行い、自立更生と生活安定を図ることを目的とする。

○貸付相談件数（4件）

○貸付決定/償還件数(4/4件)

10. 福祉団体支援事業

福祉関係団体に対する住民参加の促進と民間社会福祉事業の振興と発達を図るため支援活動として助成を行った。

○助成団体

団体名称	加入人数（人）
柴田町ボランティア・NPO活動連絡会	団体 23 団体、個人 23 名、賛助 21 名
柴田町子ども会育成会連絡協議会	町内 6 小学校区子ども会育成会
柴田町ジュニアリーダーサークル「かぐや姫」	会員数 8
柴田町身体障害者福祉協会	会員数 18
精神障害者家族会「桜会」	会員数 17
柴田町遺族会	会員数 132
柴田町更生保護女性会	会員数 30
柴田町民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員 80 人、主任児童委員 3 人
柴田町老人クラブ連合会	会員数 248
柴田町婦人防火クラブ連合会	団体数 35
さくら食堂	(9 B 区)
土手内食堂	(9 A 区)
しんえいをもっと元気にする会	(11 C 区)
子ども食堂みんなのテーブル	(29 B 区)
合計 14 団体	

※団体業務については、13. 福祉団体等事務局業務を参照。

11. 基金運営事業

社協事業を円滑に運営するために、各種基金を設け、資金を計画的且つ適正に運用管理した。

(1) 基金等の管理運営

○「福祉振興基金」

目 的：地域福祉活動と本会運営の安定化を図るため設置。

基金額：10,000千円

○「災害対策基金」

目 的：大規模災害が発生した際に、本会において立ち上げる災害ボランティアセンターの円滑な運営を図るため設置。

基金額：5,000千円

○「車両整備基金」

目 的：将来の社会福祉事業に使用する車両の更新に備えるため設置。

基金額：8,000千円

○「新規事業対策基金」

目 的：新規事業を実施する際の運営資金に充てるため設置。

基金額：3,000千円

(2) 善意銀行の運営

善意銀行は、寄付金や寄付物品を効果的に社会生活の相互扶助に活用し、地域社会の福祉の増進に寄与することを目的に設置。

善意銀行運営状況

① 金銭受入明細

No.	月 日	受 入 先	金 額 (円)
1	R 7. 8. 9	通帳利息	2,937
2	R 8. 1. 15	歳末たすけあい配分金	67,367
3	R 8. 2. 14	通帳利息	3,371
4	R 7. 2. 28	歳末たすけあい配分金	10,000
5	R 8. 3. 31	寄付金	15,000
合 計			98,675

② 金銭払出明細

No.	月 日	払 出 先	金 額 (円)
1	R 7. 7. 30	フードバンク食糧購入	50,220
2	R 7. 8. 5	火災見舞金（全焼1件）	40,000
3	R 8. 2. 13	火災見舞金（全焼1件）	20,000
4	R 8. 2. 13	生活支援金（1件）	5,000
合 計			115,220

③物品寄付明細

NO	月 日	寄附者名	物品名
1	R7. 4. 22	豊屋食品工業㈱ 様	長茄子漬 1、南蛮みそ 3、しそ漬梅干し 2 0
2	R7. 5. 21	豊屋食品工業㈱ 様	福神漬け 2、菊芋きんぴら 2、南蛮みそ 5、 長茄子漬 2、青唐辛子みそ 4、からみ漬け 3 いぶり味たくあん 1
3	R7. 6. 13	葉坂希望の郷 様	玉ねぎ 60 キロ
4	R7. 7. 4	豊屋食品工業㈱ 様	福神漬け 4、長茄子漬 8、甘辛だいこん 2 南蛮みそ 4、いぶりたくあん 1
5	R7. 7. 23	大和電設工業㈱仙南技術センタ様	レトルト野菜カレー 6 0
6	R7. 8. 7	農事組合法人 桜花爛漫 様	玉ねぎ 3 5 キロ
7	R7. 8. 19	太田庸善商店 様	お米 5 キロ
8	R7. 10. 15	大和電設工業㈱仙南技術センタ 様	ツナ缶 2 4
9	R7. 11. 18	豊屋食品工業㈱ 様	福神漬け等漬物各種 81
10	R8. 2. 6	農事組合法人 葉坂希望の郷 様	ブロッコリー 5 0 キロ
11	R8. 2. 17	豊屋食品工業㈱ 様	長茄子漬 1 3、福神漬け 2、南蛮みそ 1 2 青唐辛子みそ 5
12	R8. 3. 11	大和電設工業㈱仙南技術センタ様	やきとり缶詰 2 4
13	R8. 3. 27	株式会社ヒルズ 様	モモカツ 170

12. 受託事業

県社協、町からの事業の委託を受け、社会福祉協議会の受託事業として利用者本位の質の高いサービス提供が行われるよう体制づくりを進め事業を実施した。

(1) 生活福祉資金貸付制度（県社協からの事務委託）

生活の安定と経済的自立を図ることを目的として、低所得世帯・高齢者世帯・障害者世帯に対し、資金貸付の相談と各種支援制度の情報提供、関係機関と連携して支援を行った。

また、生活福祉資金（コロナ特例貸付等）借受人に対して丁寧な相談支援が実施できるよう、令和5年度から債権管理事務を行う事務員を配置し、県自立相談支援センター、町関係機関との連携体制の構築に努めた。

【資金貸付の相談及び申請内容】

単位：件

資金の種類			相談	申請
総合支援資金	生活支援費	生活再建までの間に必要な生活費用	11	0
	住宅入居費	敷金、礼金等住宅の賃貸契約を結ぶために必要な経費	0	0
	一時生活再建費	生活を再建するために一時的に必要なかつ日常生活費で賄うことが困難である費用	0	0
福祉資金	福祉費	技能習得、福祉用具、障害者用自動車、住居の移転、医療費等日常生活上一時的に必要な経費	18	2
	緊急小口資金	医療費、盗難、被災等で緊急かつ一時的に生計維持が困難となった場合に貸し付ける少額の費用	18	0
教育支援資金	教育支援費	低所得世帯で高等学校、大学、短大、高等専門学校、専修学校に就学するのに必要な経費	0	0
	就学支度費	上記学校等への入学に際し必要な経費	1	0
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	低所得の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金	1	0
	要保護世帯向け不動産担保生活費	要保護の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金	0	0
つなぎ資金	臨時特例つなぎ資金	住居のない離職者に対して、公的給付金又は公的貸付金を受けるまでの生活費を貸し付ける資金	1	0
計			50	2

【コロナ特例貸付 償還免除・納付猶予状況】

(R7.3月末現在)

貸付種別	貸付実績 (件)	償還免除		納付猶予	
		件数	割合	件数	割合
緊急小口資金	264 件	124 件	47%	18 件	7%
総合支援資金（初回）	158 件	90 件	57%	14 件	9%
総合支援資金（延長）	34 件	17 件	50%	1 件	3%
総合支援資金（再貸付）	48 件	20 件	42%	0 件	0%
計	504 件	251 件	50%	33 件	7%

（２）日常生活自立支援事業（まもりーぶ事業）

宮城県社会福祉協議会からの一部委託事業として、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう在宅生活を支援する事業として、利用者との契約に基づき、福祉サービスの支払いをはじめとした日常的な金銭管理や、通帳など重要書類を預かり、利用者が安心して自立した生活が送れるようにすることを目的とし、生活支援員６名を配置し福祉サービスを実施した。

相談受付状況

対象者別	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
相談受付数（件）	0	0	0	0	0
年度末利用者数（人）	0	6	4	0	10

（３）柴田町自立者支援通所事業「春風」

柴田町にお住まいで、要介護認定を受けていない在宅の６５歳以上の方を対象に、心身機能の維持・向上及び積極的な社会参加と生活の活性化を図るため、身近に利用できる自立者支援事業として、柴田町地域福祉センターで開催

○ 主なサービス内容

・健康チェック・今日の話題・送迎・外注による食事の提供

・趣味・創作活動

お花見・歌うかるた取り／季節の飾り物・かぶと／寄せ植え／全体作品・折り鶴アート
切り絵／レジンキーホルダー／半年カレンダー／新聞ちぎり絵／

生花フラワーアレンジメント／お正月飾り・しめ縄／料理・フルーツクレープ作り

造花フラワーアレンジメント

・社会見学

春のお出かけ（角田方面）、秋のお出かけ（東松島方面）、冬のお出かけ（白石方面）

・教養講座

健康講話／社協職員講話／中学生を講師にした『中学生先生』の授業／新春お茶会

・健康維持活動

合唱／あたまの体操・音読、計算、間違い探し、クロスワード、迷路

・レクリエーション

ビンゴゲーム／ミニ運動会／リズム体操／ゲーム大会

柴田町自立者支援通所事業年間利用状況（Ｒ７．３．３１現在）

登録人数	開催日数	延べ利用者数	１日平均
９５人	２００日	１，８７５人	約９人

（４）槻木ケアステーション運営事業

高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）生活援助員派遣事業を町から受託し、県営柴田槻木住宅内に生活支援の拠点として整備した「槻木ケアステーション」において、対象入居者への地域社会の中で自立して安全かつ、快適な日常生活を営むことができるように支援を行った。

入居対象個数及び入居状況

高齢者世話付住宅	
入居対象者数	入居世帯
10戸	4戸

生活援助員（L.S.A）活動状況

生活援助員は、高齢者の世話付住宅（シルバーハウジング）入居者を支援するため生活指導相談、安否の確認、一時的な家事援助の提供、緊急時の対応等関係機関との連携を図った。（生活援助員2名）

（５）柴田町高齢者サークル活動支援事業

柴田在住のおおむね70歳以上を対象に仲間づくりや生きがいを促進するとともに社会参加を図ることに努めた。

令和7年度は、2サークルの支援であった。

	サークル名	登録人数	実施場所
1	カラオケ	19人	農村環境改善センター
2	書道	16人	船迫公民館

※平成19年度から続いた高齢者サークル活動支援事業は、令和7年度で受託事業は終了。

（６）柴田町地域包括支援センター事業

柴田町地域包括支援センターは、船岡・船迫地区（28区を除く）を担当エリアとし、地域の高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい尊厳ある暮らしを継続できるよう、ニーズや状態の変化に応じて、必要な支援や見守りが切れ間なく提供される体制づくり（多職種多機関による連携支援と地域支援・認知症施策の推進）を行いました。

主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師（看護師）の専門職が配置され、それぞれの特性を活かし連携する事で（1）介護予防ケアマネジメント（2）総合相談支援（3）権利擁護（4）包括的・継続的ケアマネジメント支援の4つの基本業務を担当すると共に、地域の実情に応じた任意事業に取り組み、下記の通り実施しました。

1. 包括的支援事業

（1）新規相談者 278件、継続相談・再来相談者 1713件

（2）相談件数合計 5220件

- ・総合相談 相談延べ件数 3838件
- ・権利擁護・高齢者虐待等 相談延べ件数 190件
- ・包括的継続的ケアマネジメント支援事業 ケアマネジャー支援延べ件数 197件

（3）事業（会議）実績

- ・ネットワーク代表者会議 （3回） 36名
- ・ネットワーク全体会議 （4回） 205名

- ・地域ケア推進会議 (1回) 13名
- ・地域ケア個別会議 (3回) 64名
- ・自主研究部会(6団体)支援(活動支援・研修実施支援)
- ・ケアマネジャー情報交換会 (3回) 90名
- ・主任ケアマネジャー連絡会 (4回) 38名
- ・福祉課地域包括連絡会 (12回)
- ・認知症地域支援推進員連絡会 (12回) 69名
- ・チームオレンジ井戸端会議 (6回) 94名
- ・権利擁護関係
 - ①虐待対応 (17件)
 - ②成年後見制度 町長申立て(0件) 新規相談支援(5件) 継続相談支援(2件)
 - ③処遇困難ケース検討会議随時開催(14回)

2. 介護予防給付・介護予防ケアマネジメント

- ・事業対象者・要支援1・2認定者の給付管理数 2825件

3. 介護予防事業

(1) 一般高齢者地域介護予防支援事業

- ・ダンベルサークル連絡会(3回) 118名
- ・玄米ダンベルサークルフォローアップ研修 (3会場) 106名
- ・ノルディックウォーキングサークル連絡会 (4回) 25名
- ・ランチを楽しむ会(8グループ中8グループが開催)(90回) 530名
- ・ランチを楽しむ会世話人会開催 (3回) 44名

(2) 普及啓発事業

- ・出前講座(21回) 573名

4. 任意事業 介護家族支援事業

- ・介護家族の会「よつば会」
 - 役員会(5回) 23名、総会(1回) 17名、研修会・交流会(2回) 63名
- ・ふたば会支援(毎月第2火曜日) (12回) 77名
- ・しゃべり場(毎月第1水曜日開催) (12回) 47名
- ・船岡しゃべり場(毎月第3木曜日開催) (12回) 57名
- ・ネットワーク情報(権利擁護普及啓発チラシ) 年5回作成・配布
- ・職員ミーティングの開催 年4回
- ・実習生受入れ11名(社会福祉士養成4名、中学校職場体験3名、中学校キャリアセミナー4名)

(7)柴田町社会福祉協議会訪問調査センター事業【町委託事業】

高齢者の介護を社会全体で支える制度として設けられた、介護保険制度のサービスを受けるために、町及び他市町村からの認定調査事務の委託を受けて、要介護認定等の申請を行った被保険者の心身の状況等について、定められた認定調査を行った。また、障害程度区分認定調査も行った。

1. 柴田町要介護認定等調査実績（令和7年4月～令和8年3月）

調査区分	新規	更新	区変	介護	再調査	合計
件数(件)	456	727	128	127	11	1,449

2. 他市町村から受託した介護認定等調査実績（令和7年4月～令和8年3月）1件

3. 柴田町障害認定区分調査実績（令和7年4月～令和8年3月）40件

(8)柴田町生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター配置)【町委託事業】

町の受託事業として、地域包括ケアシステムの構築における高齢者の生活支援体制整備に向けて、その業務を担う生活支援コーディネーターを当協議会に配置（第1層1名、第2層2名）し、地域づくりに向けて下記の取り組みを実施した。

1. 地域支え合い活動促進

- ・住民主体による生活支援・介護予防体制整備を推進するため、各地区の支え合い活動の把握及び立ち上げ支援を重点的に実施
- ・各地区の催し、サークル、集いの場等への訪問・取材を通し、地域活動の実態把握を行うとともに、活動継続に向けた助言や地域資源とのマッチング
- ・「区長ゆるトーク」を試行的に実施し、区長間の情報共有の場を創出
「となりの区長さんに聞きました」発行
- ・地区民生委員への地域の現状等の聞き取り調査実施
- ・企業で行っている生活支援サービスの調査

2. 収集した情報の発信、住民への啓発

- ・「柴田町暮らしのお助け帳」町内の生活支援サービスの一覧
- ・「生活支援コーディネーター通信 みんなの広場」第8号発行（R8.3月全戸配布）
- ・生活支援コーディネーターPRチラシ裏面に「SCかわら版」作成（6月・10月）
- ・「みんなの美術館」（4月から3月開催）
地域づくりや介護予防活動、地域資源の発表、情報発信を目的に開催
- ・「しばた・来らいんマップ」更新、情報収集

3. 生活支援・介護予防体制整備協議体への参加

- ・令和8年1月（第1回）「柴田町の現状・地域課題等の情報共有」

4. 関連研修・会議への参加

- ・内部研修（5回）
- ・わいがや座談会「多職種連携」オンライン研修 長野県社会福祉協議会主催
- ・宮城県生活支援コーディネーター養成、実務者、事例検討関連研修（13回）
- ・令和7年度災害ボランティアセンター準備・運営研修会
- ・令和7年度コミュニティソーシャルワーク実践研修、ステップアップ研修
- ・その他（研修、報告会等）

- ・福祉課（地域ケア個別会議）
- ・まちづくり政策課（住民自治まちづくり条例審議会）

5. 生活支援コーディネーター連絡協議会（年11回開催）

- ・高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進するため、福祉課・関係機関との間で情報共有、業務の進捗状況の確認、課題等について検討した

13. 指定管理事業

町からの事業の指定を受け、指定事業として業務及び高いサービス提供が行われるよう体制づくりを進め事業を実施した。

（1）地域福祉センター指定管理事業

地域福祉センターは、平成21年度から指定管理者の指定を受け、運営管理業務を行っています。センター内には、社協事務所・ボランティアセンター、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター室、訪問調査センター、自立者支援通所事業「春風」が事務所を構え、地域住民の生活を支える福祉の総合的な拠点としての役割を果たしている。また、研修室を完備し、社協事業・福祉団体・役場主催の行事等に有効的に活用されている。（令和6年度～令和10年度：指定管理者）

○主な運営業務内容

- 福祉センターの施設及び付属設備の維持管理並びに修繕に関すること
□施設害虫駆除、除草・草刈、ゴミ清掃、施設内外修繕
- 福祉センター入居に係る各種経費の精算に関すること
□電気・灯油代の請求書の作成
- 福祉センターの利用申請に関すること
□研修室等の利用申請業務(町の事業、社協事業、ボランティア団体等)
- その他、町が福祉センターの運営に必要と認めた事項に関すること

○令和7年度施設利用実績(6年度実績)

研修室			小会議室			相談室			ホール		
回数	時間	人数	回数	時間	人数	回数	時間	人数	回数	時間	人数
172 (75)	345.5 (163)	5,899 (2,730)	192 (185)	351 (368)	1,699 (1,551)	105 (166)	243 (366)	260 (523)	142 (148)	363.5 (332)	3,297 (2,944)
						旧まごころホーム			施設利用合計		
						回数	時間	人数	回数	時間	人数
						98 (125)	233 (291)	4,418 (5,015)	709 (699)	1,536 (1,520)	15,573 (12,764)

（２）柴田町地域活動支援センターもみのき・しらさぎ指定管理事業

障がい者及び障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者を通わせ、創作的活動や生産活動の機会の提供、社会交流の促進などを図り総合的に支援することを目的としている。

◎柴田町地域活動支援センターもみのき利用登録者数（９人）

○主な事業内容

- １．創作的活動・交流活動
☐ ラジオ体操、フラワーアレンジ
- ２．生産活動・交流活動
☐ 菓匠三全、ネクストの下請け作業
- ３．年間行事
☐ お花見、セッ森希望の家合宿訓練、社会見学
- ４．交流活動（生産活動の協力及び創作的活動の協力団体等）
☐ 町内登録ボランティア
☐ 花匠園

◎柴田町地域活動支援センターしらさぎ利用登録者数（３０人）

○主な事業内容

- １．創作的活動
☐ 団子処しらさぎ店舗装飾づくり・合同俳句会
- ２．生産活動・交流活動
☐ 松和産業・東和製作所の下請け作業、販売手芸品等の作成、つつみ屋フランチャイズ
店舗販売・めいらくソフト販売・紙資源回収作業
- ３．年間行事
☐ 柴田町社会福祉協議会「福祉まつり」参加・関係機関とのケア会議
定例会【利用者さんの意見交換会】【各毎月１回開催】
体力づくり（ラジオ体操実施）
- ４．地域交流活動（町内のイベント等への参加）
☐ 地域福祉センター等での団子等の出張販売
（柴田町民生児童委員協議会定例会・各研修会・各団体総会等）
☐ 資源回収、福祉まつり参加

14. 福祉団体等事務局業務

町内の福祉団体が自発的に、自立して自らの団体の目指す活動ができるように、必要な相談支援を行った。また、団体運営が円滑に推進できるように団体事務及び連絡調整を図り、福祉団体の育成強化に努めた。

(1) 柴田町民生委員児童委員協議会（民生委員児童委員74人、主任児童委員3人）

目 的： 民生委員児童委員の相互の研鑽と資質の向上に努めるとともに、職務に関する連絡提携を行なう。併せて町、保健福祉事務所、その他関係機関との緊密な連携を保ち、もって社会福祉の増進に努めることを目的とする。

～ 業務内容 ～

- 1) 柴田町民生委員児童委員協議会の会計事務
- 2) 宮城県、宮城県民生委員児童委員協議会関係の報告等事務
- 3) 定例会（12回）の開催準備（会議、研修会含む）
- 4) 企画部会（13回）の開催準備（民児協事業の企画立案）
- 5) 生活、高齢者、児童福祉部会の活動支援（役員会、研修会含む）
- 6) 民生委員・児童委員の日 活動強化週間 PR活動準備
- 7) にこにこ親子応援隊（ブックスタート）
- 8) 民協互助会
 - ・見舞金、退任慰労金等の申請事務、会計事務
- 9) 表彰者申請

(2) 柴田町ボランティア・NPO活動連絡会（団体数20団体）（個人23人）（賛助21人）

目 的： ボランティアの連絡調整と情報交流を図り、積極的なボランティア活動を推進することを目的とする。

～ 業務の内容 ～

○柴田町ボランティア・NPO活動連絡会

- ・柴田町ボランティア・NPO活動連絡会 経理事務
- ・年会費の取りまとめ
- ・総会（案内文書送付・参加者取りまとめ・総会資料作成）
- ・柴田町ボランティア・NPO活動連絡会研修会 開催
- ・役員会 年4回 開催

○仙南地方ボランティア連絡協議会

- ・役員・事務担当者会議 年3回※対面3回実施

（３）柴田町身体障害者福祉協会（会員数１８人）

目 的： 柴田町内に在住する身体障害者の福祉増進に必要な事業を行うと共に会員相互の親睦を図ることを目的とする。

～ 業務の内容 ～

○柴田町身体障害者福祉協会

- ・柴田町身体障害者福祉協会 経理事務
- ・年会費の取りまとめ
- ・総会 開催（案内文書送付・参加者取りまとめ・総会資料作成）
- ・役員・代議員合同会議 年３回 開催

○仙南地方連絡協議会

- ・定期総会
- ・仙南地方連絡協議会 体育大会

（４）柴田町遺族会（会員数１３２人）

目 的： 戦死戦病者遺家族の福祉向上、英霊の顕彰及び遺家族の親睦を図ることを目的とする。

～ 業務の主な内容 ～

○柴田町遺族会

- ・柴田町遺族会 事務
- ・総会 開催（案内文書送付・参加者取りまとめ・総会資料作成）
- ・役員会 年１回 開催

○県遺族会

- ・戦没者慰霊 ８月

（５）福祉劇団「鶴亀」（会員数８人）

目 的： “目で見てわかる福祉”をチャッチフレーズに福祉劇を上演し、様々な福祉サービスをみんなに知ってもらうための公演活動を行っている。

～ 業務の主な内容 ～

- ・福祉劇団「鶴亀」 経理事務
- ・毎月定例会開催
- ・公演依頼の対応・日程調整

(6) 柴田町老人クラブ連合会(会員数248人)

目 的： 老人クラブの育成を図ると共に広く老人福祉の推進に寄与することを目的とする。

～ 業務の内容 ～

○柴田町老人クラブ連合会

- ・柴田町老人クラブ連合会 経理事務
- ・年会費の取りまとめ
- ・総会開催（案内文書送付・参加者取りまとめ・総会資料作成）
- ・役員会、委員会の開催
- ・部会の開催（必要に応じて開催）
- ・グラウンドゴルフ大会開催
- ・ボッチャ大会開催
- ・柴田町社会福祉協議会みんなの美術館へ出品
- ・女性部講演会開催
- ・女性部移動研修会開催
- ・移動研修会開催
- ・町補助金関係 申請・報告書提出

○県老人クラブ連合会

- ・宮城県シニアスポーツ大会 出場
- ・宮城県老人クラブ大会へ参加

(7) 柴田町共同募金委員会(理事11名・監事3名・評議員23名)

目 的： 共同募金運動の目的達成のために、社会福祉法人宮城県共同募金会の定める諸計画を実施するとともに、柴田町の福祉の増進することを目的とする。

～ 業務の内容 ～

- (1) 柴田町における募金活動の実施
行政、企業、職域等へ依頼文発送
町内協力店に募金箱設置
- (2) 柴田町における広報活動の実施
- (3) 赤い羽根共同募金運動推進会議開催
会議資料、資材準備
- (4) 歳末たすけあい運動推進会議開催
会議資料、資材準備
- (5) 町内施設、放課後児童クラブ等へのクリスマスケーキ配分
- (6) 歳末たすけあい配分委員会第1次・第2次
- (7) 歳末たすけあい配分事業第1次申請書作成 県共募へ提出

歳末たすけあい配分事業第2次申請書作成 県共募へ提出

歳末たすけあい配分事業完了報告書類作成 県共募へ提出

- (8) 柴田町における社会福祉協議会及び受配者との連絡
- (9) その他、共同募金運動の目的達成のために必要な事業
- (10) 共同募金配分金（事業）周知・申請受付
- (11) 小規模災害見舞金の申請事務
- (12) 宮城県共同募金会関係の報告等事務
- (13) 会計事務、会計システムの操作
- (14) はねっとシステム操作
- (15) 理事会・評議員会

◇令和7年度事業配分（令和6年度共同募金からの配分）

○宮城県共同募金会 助成金事業（1件 200,000円）

団 体 名	配分金額（円）	事 業 名
柴田町社会福祉協議会	200,000	困難を抱える子どもや家族への支援 活動助成事業

○中央共同募金会 助成金事業（1件 200,000円）

団 体 名	配分金額（円）	事 業 名
柴田町社会福祉協議会	200,000	赤い羽根・物価高騰下のいのちを つなぐ支え合いキャンペーン

○地域福祉事業（町社会福祉協議会）

2,016,866円

○共同募金委員会 事務補助費 346,000円